

## 平成27年度 群馬県自然保護連盟の活動

発表者 : 谷畑 藤男

所属 : NPO法人 群馬県自然保護連盟

”群馬の自然は宝物”自然はみんなのもので

『自然は一旦破壊したら元に戻すことは不可能です』このことは現代人なら誰もが知っていることです。この群馬の自然を破壊から救うのは、今からでも決して遅くはありません。

山々には美しい草花が咲き、野鳥のさえずる群馬、こうした自然環境を維持するためには、私たち県民一人一人が自然と人間との調和を理解し、幅広い保護思想を高めることこそ必要な施策ではないでしょうか。(入会のしおりより)

### ○ 保護活動

場 所 (月日)	テーマ	参加者	備考
渡良瀬遊水地 (4・26)	湿原生態系と希少な生きもの	15名	ノウルシ・トネハナヤスリなど観察(図1)
赤城山麓 (5・16)	生物多様性について学ぶ	19名	サクラソウの観察と株数調査(図2)
サンデンフォレスト(8・2)	企業が行う生物多様性回復に向けた取り組みを知ろう	19名	ビオトープ・大林沼雑木林で観察(図5)
谷川・湯檜曾川 (8・24)	特定外来植物(オオハンゴンソウ)駆除活動を学ぶ	33名	オオハンゴンソウ150kg駆除(図6)
榛名湖・沼ノ原 (9・6)	湖沼と草原の生き物を知ろう	31名	カラスガイ・コケムシなど観察(図7)

### ○ 自然観察会

場 所 (月日)	テーマ	参加者	備考
桐生自然観察の森(6・14)	貴重な動植物の保護・生態を学ぼう	13名	里山の生物を観察。
赤城山水源の森(7・19)	溪流の水生生物と林の昆虫や植物の観察しよう	40名	子ども達が水生生物の採集体験(図4)
栈敷山(8・9)	亜高山帯植物や高原の蝶を観察しよう	22名	アサギマダラの標識放蝶を体験
玉原高原 (9・27)	秋のブナ林と湿原の植物を観察しよう	16名	ヤシヤビシヤクを観察
妙義石門コース(11・8)	石門めぐりと紅葉を観察しよう	名	今後実施

○ その他・・・自然観察教室(図3)、けいはつ活動(図8)、会報「群馬の自然」発行など